

質 問 書

2023 年 4 月 3 日

「マダガスカル国市場志向型農業推進プロジェクト」

(公示日:2023 年 3 月 22 日/調達管理番号:22a00935)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 p.13 2) プロジェクト活動の対象県・対象農家グループの選定について	対象県の選定基準に含める要素として、「他の農業普及プロジェクトが実施されている地域」とありますが、その理由は何かご教示いただけないでしょうか？ 効果検証を行うにあたって、他のプロジェクトが実施されている地域では、農家グループ毎に異なる他プロジェクトの効果が含まれてしまう可能性があり、本プロジェクトの純粋な効果が検証できない可能性があると思われます。 または、他の農業普及プロジェクトが実施されている地域を選定しつつも、それも考慮した調査デザインを提案すればよいでしょうか？	本事業は既存の普及体制を活用して、SHEP の普及体制の自立・内部化を目指すため、他の農業普及プロジェクトが実施されており、普及体制が確認できる地域を選定することとしています。 したがって、既存の農業普及プロジェクトが実施されている地域を選定することを考慮した調査デザインを提案下さい。
2	企画競争説明書 p.13 2) プロジェクト活動の対象県・対象農家グループの選定について 3) 効果検証調査のデザインについて	「対象農家の選定については、持続的かつ自主的な活動を担保するため、SHEP アプローチの趣旨を理解し、且つモチベーションが高く…」とあります。効果検証調査のデザインにおいて、トリートメントグループとコントロールグループはいずれも農業普及への参加のモチベーションが高いグループを選定すればよいでしょうか？	効果検証が可能となるよう、コントロールグループの選定についてもご提案下さい。なお、企画競争説明書 P14 に記載のとおり、コントロールグループへは将来 SHEP アプローチに基づく普及活動をプロジェクトまたは MINAE により実施するようアレンジすることとしている点につきご留意ください。
3	企画競争説明書 p.13～14 3) 効果検証調査のデザインについて	「対象農家世帯への所得向上と家庭内福祉の向上に係る効果検証を行う。」とありますが、マダガスカルの場合、自家消費農産物の栽培・収穫時期を分散させることでの、家庭の支出削減と家庭内福祉への裨益効果も大きいと考えられます。本プロジェクトは換金作物の	対象農家の選定については、換金作物を導入している農家グループの選定を想定しているため、プロジェクトでは換金作物を中心に扱うことを想定しています。一方で、企画競争説明書 8 ページの注釈 4 に記載のとおり、支出最適化を

		みを対象とし、自家消費作物は対象外ということによろしいでしょうか？	通じた農家世帯の家庭内福祉の向上と持続発展性を担保した農業経営を実現するための「マダガスカル版 SHEP アプローチ」の検証・形成を目指しているため、自家消費作物にかかるプロジェクトでの取り扱いについてご提案頂くことも可能です。
4	企画競争説明書 p.14 3) 効果検証調査のデザインについて マダガスカル版 SHEP アプローチの実施を通じた対象農家世帯への所得向上と家庭内福祉の向上に係る効果検証を行う。	家庭内福祉にはDVや意思決定、子供の教育や栄養等様々な要素が含まれると思いますが、本件業務にて特に重要視される要素があればご教示ください。	重要視している特定の要素はないものの、一般的に所得向上が無条件で家庭内福祉の向上を担保するものではないため、所得向上を家庭内福祉の改善につなげるための工夫につきご提案下さい。
5	企画競争説明書 p.14 4) SHEP アプローチの実施方針	「研修業務を担当する業務従事者のいずれか 1 名は JICA の技術普及プロジェクトにて農業普及又は園芸生産分野の担当としての業務経験を有していること。」とあります。マダガスカルは、米と野菜(または果樹や畜産も)の複合経営の農家も多いと思われそうですが、本プロジェクトの技術移転対象は野菜のみでしょうか？また、効果検証調査では、世帯全体の収支を調べるため、野菜以外もカバーする必要があるでしょうか？	一義的には野菜に限定するものではありませんが、限られたリソースの中では全ての品目を網羅できるものではありません。従って、プロジェクト専門家の専門分野以外での品目を対応する場合はその対応策もご提案下さい。 効果検証調査ではご指摘の通り場合によっては野菜以外をカバーする必要も生じることも考えられるため、野菜以外もカバーする場合は効果検証調査の実施方法の中でご提案下さい。
6	企画競争説明書 p.14 (4) 成果 3 にかかる活動について	「成果 3-2.SHEP アプローチ実施のために MINAE 内部で手当される資金、そして外部より調達される資金を確保するための・・・」、「活動 3-2 においても、MINAE 内部の予算確保・支出及び他ドナー(IFAD 等)、NGOs 等の連携を促進し・・・」とあります。他ドナーの資金を活用した場合も「SHEP アプローチの持続的実施」と捉えてもよろしいでしょうか？またその場合、JICA 以外のドナーからの資金の活用を持続的実施と認識すればよ	他ドナーの資金を活用した場合も SHEP アプローチの持続的な実施とみなしますが、成果 3 にかかる活動はプロジェクト終了後の持続性向上を念頭に置いたものであり、JICA 専門家とカウンターパートからなるプロジェクトチームが、マダガスカル側の関係者による実施を促し(ファシリテート)、活動が実施されることを狙っています。そのため、JICA 専門家が他ドナー資金

		いでしょうか？	によるプロジェクトを直接実施促進することはせず、マダガスカル側が主体的に実施するよう促していく活動となる提案をお願いします。
7	企画競争説明書 p.15 (6) マダガスカル側カウンターパート予算(C/P 予算)について	本プロジェクトで、マダガスカル政府と合意しているカウンターパート予算(C/P 予算)にはどのような経費が含まれるかご教示いただけないでしょうか？	CP の給料、手当、国内出張旅費です。
8	企画競争説明書 p.15 脚注 12 第1期契約期間(2025年2月まで)の活動にかかる運営費用については全額一般業務費に計上すること。	現地業務を進めるにあたって、カウンターパートへの日当、宿泊と巡回の燃料代の支出が想定されます。参考情報として、JICA マダガスカル事務所でご使用されている単価をご共有いただくことは可能でしょうか。	別添資料のとおりです。なお、基準が改定された場合は、契約交渉の際に調整させていただきます。
9	企画競争説明書 p.18 (7) 効果検証調査にかかる活動(活動 2-7~2-9)	「効果検証調査の実施は現地のコンサルタント等に再委託することを可」とあります。効果検証調査も「SHEP アプローチの持続的实施」に含め、マダガスカル政府側が毎年の農業普及の成果を持続的に評価できる内容(規模やコスト)にする必要があるでしょうか？	効果検証調査の目的は本プロジェクトを通じたマダガスカル版 SHEP アプローチの確立のための検証であるため、プロジェクト終了後のマダガスカル政府による調査の継続は想定していません。
10	企画競争説明書 p.25 (3) 業務従事予定者の経験、能力 2) 業務経験分野等	「業務主任者の類似業務経験の分野:SHEP アプローチを活用した案件の従事経験……」とありますが、市場情報を活用した農家のモチベーション高揚に係る業務経験であれば、SHEP アプローチの類似業務経験とみなしてもよろしいでしょうか？	SHEP アプローチは、情報の非対称性の緩和と自己決定理論に基づく動機付けの 2 つの柱から構成されており、両者に取り組んでいる場合は類似業務とみなすことは可能です。

以上



Taux de per diem et nuitée des homologues des projets de la JICA

La présente grille entrera en vigueur et prendra effet à partir du 1^{ère} septembre 2019 pour tous les domaines du projet de la JICA Madagascar.

Destinations	Durée de mission	Catégorie des agents			Mode de calcul
		« Catégorie 1 » DG, Directeur, Coordonnateur National et Régional, Responsable Unité, Chercheurs, Etudiant en PhD	« Catégorie 2 » Techniciens cadres, Assistantes, Etudiant en master Autre agents de l'état (Indice \geq 800)	« Catégorie 3 » Personnel d'appui et chauffeur PAFP (formateur), Autre Agents de l'état (Indice < 800)	
Chef-lieu de région /province	1 Jour	36,000	36,000	30,000	Per diem*
	2 Jours	130,500	124,000	99,000	1 Nuitée + 2 Per diem
	3 Jours	225,000	212,000	168,000	2 Nuitée + 3 Per diem
	(Nuitée)	58,500	52,000	39,000	
Chef lieu District	1 Jour	36,000	36,000	30,000	Per diem*
	2 Jours	121,400	117,500	92,500	1 Nuitée + 2 Per diem
	3 Jours	206,800	199,000	155,000	2 Nuitée + 3 Per diem
	(Nuitée)	49,400	45,500	32,500	
Zone rurale, Communes	1 Jour	36,000	36,000	30,000	Per diem*
	2 Jours	111,000	108,400	89,250	1 Nuitée + 2 Per diem
	3 Jours	186,000	180,800	148,500	2 Nuitée + 3 Per diem
	(Nuitée)	39,000	36,400	29,250	

***Conditions :** une mission est un déplacement de plus de 35km du lieu de travail **OU** une mission de plus de 8h

NB : Dans le cas où le Gouvernement prendra en charge les frais de déplacement pour les missions des projets de la JICA selon la pratique de chaque structure, la JICA complètera le reste par rapport au taux fixé.

Le 30 Août, 2019

UMEMOTO Shinji
Représentant Résident
JICA Madagascar

